

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年11月13日 (2014.11.13)

【公開番号】特開2014-144044(P2014-144044A)
 【公開日】平成26年8月14日 (2014.8.14)
 【年通号数】公開・登録公報2014-043
 【出願番号】特願2013-12896(P2013-12896)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日 (2014.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報を複数の変動領域の各々において変動表示させた後に表示結果を導出表示する制御を行う表示制御手段と、

表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、

遊技者の動作を検出可能な検出手段と、を備え、

前記表示制御手段は、

表示結果を導出表示する前に、停止した識別情報である停止識別情報が前記特定表示結果の一部を構成するリーチ状態に制御するリーチ状態制御手段と、

第 1 の識別情報による前記リーチ状態が成立した後に、当該第 1 の識別情報とは異なる第 2 の識別情報による前記リーチ状態が成立するように停止識別情報を変化させる特別演出を実行する特別演出実行手段と、

前記特別演出を実行した後に停止する識別情報が前記第 1 の識別情報以外となるような禁則制御を実行する禁則制御手段と、を有し、

複数種類の識別情報のそれぞれに対応した複数種類の特別情報の中から前記検出手段の検出結果にもとづいて選択された特別情報に対応する識別情報により前記特定表示結果が構成されたときには、他の識別情報により前記特定表示結果が構成されたときよりも付与される価値が高い、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に係り、詳しくは、識別情報を複数の変動領域の各々において変動表示させた後に表示結果を導出表示する制御を行う表示制御手段と、表示結果として特定表示結果が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、を備える遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような背景のもとになされたものであり、その目的は、リーチ状態となり、停止識別情報を第1の識別情報から第2の識別情報に変化させる特別演出が行われた後に特定表示結果にならなくても、該特別演出が実行されたことによって有利状態に制御されなかったという残念感を遊技者に与えてしまうことを防止できる遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

まず手段1に係る発明は、

識別情報（飾り図柄）を複数の変動領域（例えば、飾り図柄表示エリア5L、5C、5R）の各々において変動表示させた後に表示結果を導出表示する制御を行う表示制御手段（例えば、ステップS160～ステップS163の処理を行う演出制御用CPU120）と、

表示結果として特定表示結果（例えば、大当たり組合せの確定飾り図柄）が導出表示されたときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な有利状態制御手段（例えば、ステップS114～ステップS117の処理を行うCPU103）と、

遊技者の動作を検出可能な検出手段と、を備え、

前記表示制御手段は、

表示結果を導出表示する前に、停止した識別情報である停止識別情報が前記特定表示結果の一部を構成するリーチ状態に制御するリーチ状態制御手段（例えば、ステップS162の処理を行う演出制御用CPU120）と、

第1の識別情報（例えば、変化前飾り図柄）による前記リーチ状態が成立した後に、当該第1の識別情報とは異なる第2の識別情報（例えば、変化後飾り図柄）による前記リーチ状態が成立するように停止識別情報を変化させる特別演出を実行する特別演出実行手段（例えば、ステップS565a又はステップS591aの処理を行う演出制御用CPU120）と、

前記特別演出を実行した後に停止する識別情報が前記第1の識別情報以外となるような禁則制御を実行する禁則制御手段（例えば、ステップS758の処理を行う演出制御用CPU120）と、を有し、

複数種類の識別情報のそれぞれに対応した複数種類の特別情報の中から前記検出手段の検出結果にもとづいて選択された特別情報に対応する識別情報により前記特定表示結果が構成されたときには、他の識別情報により前記特定表示結果が構成されたときよりも付与される価値が高い（例えば、確変大当たりであり更に大当たり遊技状態におけるラウンドの実行回数が最大のものである場合に特別情報の中から選択されたキャラクタが付随した図柄がそろった状態となるように最終停止図柄を決定する部分）、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また手段2に係る発明は、

手段 1 に記載した遊技機であって、

前記有利状態制御手段は、前記第 2 の識別情報で前記特定表示結果となったことに基づいて、前記第 1 の識別情報で前記特定表示結果となったときよりも有利な前記有利状態に制御する（ステップ S 7 5 4 の処理を行った後に、ステップ S 7 5 6 で確変リーチであることを条件に、特別演出を実行することにより、通常大当りよりも有利な確変大当りに制御する）ことを特徴とする遊技機である。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

また手段 3 に係る発明は、

手段 1 又は 2 に記載した遊技機であって、

前記リーチ状態制御手段は、複数の有効ライン（図 4 4（B）（C）に示す 3 ライン）上で前記リーチ状態が成立するように制御可能であり、

前記特別演出実行手段は、前記特別演出として、前記複数の有効ラインのうちの一の有効ライン上で停止識別情報が前記第 1 の識別情報のリーチ状態が成立した後に（図 4 4（B））、前記複数の有効ラインのうちの一の有効ライン上で前記第 2 の識別情報のリーチ状態が成立するように停止識別情報を变化させる演出を実行し（図 4 4（C））、

前記禁則制御手段は、前記リーチ状態となり、当該特別演出を実行した後に前記第 1 の識別情報のリーチ状態が成立していた有効ライン上に停止する識別情報が前記第 1 の識別情報以外となるような禁則制御を実行する（図 4 4（D）又は（E））ことを特徴とする遊技機である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

さらに手段 5 に係る発明は、

手段 1 ～ 4 のいずれか 1 つに記載した遊技機であって、

前記特別演出には、前記有利状態に制御される期待度が異なる複数種類の態様（図 4 2（C）に示す低期待度の特別演出、及び図 4 3（C）に示す高期待度の特別演出）があり、

前記特別演出実行手段は、該複数種類の態様のうちのいずれかの態様の前記特別演出を実行することを特徴とする遊技機である。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

まず手段 1 に係る遊技機によれば、リーチ状態となり、停止識別情報を第 1 の識別情報から第 2 の識別情報に変化させる特別演出を行った場合には、当該特別演出を実行した後に停止する識別情報が第 1 の識別情報以外となるような禁則制御を実行するので、特定表示結果にならなくても、該特別演出が実行されたことによって有利状態に制御されなかったという残念感を遊技者に与えてしまうことを防止できる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

また手段 2 に係る遊技機によれば、有利な有利状態に制御されうる第 2 の識別情報のリーチ状態になったということで期待した遊技者に、該第 2 の識別情報よりも不利な第 1 の識別情報のリーチによる有利状態さえも逃したという残念感を与えてしまうことを防止できる。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

また手段 3 に係る遊技機によれば、複数の有効ラインのうちの一の有効ライン上で停止識別情報が第 1 の識別情報のリーチ状態が成立した後に、該複数の有効ラインのうちの一の有効ライン上で停止識別情報が第 2 の識別情報のリーチ状態が成立するように停止識別情報を変化させる特別演出を行った場合には、該第 1 の識別情報のリーチ状態が成立していた有効ライン上に停止する識別情報が第 1 の識別情報以外となるような禁則制御を実行するので、特定表示結果にならなくても、該特別演出が実行されたことによって有利状態に制御されなかったという残念感を遊技者に与えてしまうことを防止できる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 5 】

また手段 4 に係る遊技機によれば、リーチ状態に制御しないと決定された場合には、所定の演出を繰り返すタイミングとして、リーチ状態となった後のタイミングを決定しないので、リーチ状態となることで有利状態に対する遊技者の期待感を向上させた後に、リーチ演出を実行しないことで遊技者を落胆させることを防止できる。